



第31回全国在日外国人教育研究集会・三重大会ご案内 多文化共生社会の実現にむけて、学校や地域の教育実践を交流しよう

私たち全国在日外国人教育研究協議会（略称、全外教）は、在日コリアンの子どもたちへの差別撤廃のとりくみを出発点にして、在日外国人と日本人の子どもたちの自立と連帯の場づくりを積極的に保障する運動や実践をすすめ、今年で31回目の全国研究集会を三重の地で開催します。

三重県外教は、1999年の結成以来、地元県人教、県教組、国際交流団体などの機関と連携しながら活動をすすめてきました。「子どもフェスタ」「中高生交流会」「学習会」「研究集会」などの活動を中心に据えながら、三重県教委策定の「人権教育基本方針」や「外国人教育指針」「ガイドライン」等の作成にも関与してきました。また、昨年度開催された全人教大会では、「人権の夕べ」を四日市市人教と共催し、朝鮮の文化や次代を担う在日外国人の思いを発信してきました。

このような活動により、在日外国人児童生徒にかかわるとりくみに一定の広がりが見られるようになりました。さらに、三重県内に急増する外国人との共生に向けての施策等も策定され、徐々に共生のまちづくりが進んできました。

しかしながら、課題は山積しています。外国籍教員の任用にかかわる問題もそのひとつです。三重県では、二人の在日コリアン教員が誕生して約30年が経過しました。現在、新たな正規採用をめざして、在日コリアンが本名（民族名）で中学校に勤務しています。三重県外教としても、この青年を今後も支えていき、外国籍教員の任用差別問題についても解決の道筋を明らかにしていきたいと思っています。

そして、三重県では新たに渡日した外国人が急増し、現在、5万人を超える外国人が日本人とともに暮らしています。その中には、日本名を名のらざるを得ない子どもたちの存在があります。こうした課題は、全国的に存在し、日本社会の同化と抑圧、差別と排外の現状は厳しい状況であると言わねばなりません。今年の全外教三重大会では、さまざまな課題を整理し、同時に全国のなかまと交流しあい、子どもたちの未来を保障するために、今後の在日外国人教育をよりいっそう発展充実させたいと思います。

多数のみなさんの三重大会への参加を、心よりお待ちしております。

2010年4月

〔主催〕全国在日外国人教育研究協議会

第31回全国在日外国人教育研究集会・三重大会地元実行委員会（三重県在日外国人教育研究会）

〔全国後援〕（財）朝鮮奨学会、全国キリスト教学校人権教育研究協議会、日本教職員組合、部落解放同盟中央本部、移住労働者と連帯する全国ネットワーク、フォーラム平和・人権・環境、（財）アジア福祉教育財団難民事業本部、全国在日外国人教育研究所

〔地元後援〕三重県、三重県市長会、三重県町村会、鈴鹿市、三重県教育委員会、三重県市町教育長会、鈴鹿市教育委員会、学校法人亨栄学園、三重県国公立幼稚園長会、三重県小中学校長会、三重県高等学校長協会、三重県保育士協会、三重県幼稚園協会、三重県私学協会、社団法人三重県私立幼稚園協会、三重県PTA連合会、三重県高等学校PTA連合会、三重県教職員組合、社団法人三重県人権教育研究協議会、財団法人三重県国際交流協会、財団法人反差別・人権研究所みえ、三重県人権・同和行政連絡協議会、在日本大韓国民団三重県地方本部、在日本朝鮮人総聯合会三重県本部、部落解放同盟三重県連合会、朝日新聞社、中日新聞社、毎日新聞社、伊勢新聞社、三重テレビ放送、NHK津放送局、レディオキューブFM三重、（株）ケーブルネット鈴鹿（略称CNS）、Suzuka Voice FM78.3MHz（順不同）

第31回全国在日外国人教育研究集会・三重大会地元実行委員会（三重県在日外国人教育研究会）

TEL:080-1552-1256,e-mail:mietaikai@zengaikyo.org

第 31 回全国在日外国人教育研究集会・三重大会 開催要項

テーマ 多文化共生社会の実現にむけて、学校や地域の教育実践を交流しよう

日程

8月6日(金)	フィールドワーク・全国在日外国人生徒交流会(～7日)						
8月7日(土)	10:30	12:00	13:00	13:30	14:15	15:45	16:30
	司会報告者会議	受付	開会行事	生徒アピール	記念講演	地元報告	
8月8日(日)	9:00	9:30	12:00	13:00	15:30	16:00	
	受付	分科会	昼食	分科会	閉会行事		

会場

全体会 学校法人享栄学園鈴鹿高等学校(三重県鈴鹿市庄野町 1260 TEL:059-378-0307)

分科会 学校法人享栄学園鈴鹿高等学校(三重県鈴鹿市庄野町 1260 TEL:059-378-0307)

生徒交流会 鈴鹿青少年センター(三重県鈴鹿市住吉町南谷口 TEL:059-378-9811)

全体会

生徒アピール

全国在日外国人生徒交流会参加者による報告

地元報告「在日コリアンの多様性 - それぞれの自分史 - 」

在日コリアンの青年が、それぞれの育つてくる中での出会いや気づきなどを語ります。青年たちの意識や思いは、「在日コリアン」という言葉でひとくくりにはできません。そこには多様な生き方があるということ、その中で、どのように生きていけばよいのか迷い、悩みながらすごしているということ、それぞれの語りの中から感じていただきたいと思います。

記念講演「共感から生まれる共生社会 - 語ることでつながる - 」

講師 具志アンデルソン飛雄馬と Drimrip

Drimrip とは、人権活動をおこなっている、外国にルーツをもつ中高生を中心とするグループです。

分科会

共通課題 <多文化共生> と <本名(民族名)を呼び名のる> とりくみをすすめよう
<子どもたちや教職員・地域がどう変わったか> を明らかにしよう

1、異なる文化との出会い

子どもたちに異なる文化とどう出会わせたか。
在日コリアンをはじめとする外国人の歴史をどう教材化し、親の生活史をどう伝えたか。
日本籍・ダブルの子どもにかかわるとりくみをどう進めたか。

レポート 大阪・松原高、三重・笹川東小、大分・西部中

2、本名(民族名)を呼び名のる

本名(民族名)を呼び名のる関係をどうつくったか。
在日外国人と日本人の子どもがどのような関係を結んだか。
名前の自己決定をめぐる状況はどうなっているのか。

レポート 鳥取・鳥取東高、熊本・武蔵ヶ丘小、奈良・浮小

3、学校をひらく

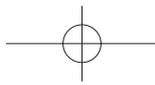
自立と連帯の場をどのように保障したか。
地域や保護者・NPOをはじめとする教育支援団体とのつながりをどのように深めたか。
民族クラブ・朝問(文)研・多文化研などがどのように活動しているか。

レポート 奈良・多文化共生フォーラム奈良、兵庫・西脇工業高、三重・あけぼの高/名張西高

4、差別と排外に抗して

差別事件へのとりくみをどのようにすすめたか。
排外意識や自民族中心主義を解き放つためにどうとりくんだか。
反差別の教育実践をどのように展開したか。

レポート 兵庫・兵庫在日韓国朝鮮人教育を考える会、三重・千里ヶ丘小、奈良・橿原に夜間中学をつくり育てる会



5、多文化共生をめざして

多文化共生の教育をどのようにすすめたか。
新たに渡日した子どもたちの教育にどうとりくんだか。
進路の保障はどのようになされているか。

レポート 京都・小栗栖小、神奈川・有馬高、東京・元小学校教員

6、未来をひらく

進路をめぐる差別の実態はどのようになっているのか。
進路の保障をどうすすめ、子どもたちの未来

をどうつくるのか。

専門学校・大学等ではどのようなとりくみをしているのか。

レポート 三重・鈴鹿市人権教育センター、京都・全国在日外国人生徒交流会卒業生の会、兵庫・元高校教員

7、全国在日外国人生徒交流会

名前・進路・生き方・学校・友人等、抱えている問題を出しあおう。

自らをとりまく現状について、明らかにしよう。
先輩の生き方に学び、未来について語りあおう。

フィールドワーク「鈴鹿に残る朝鮮通信使にまつわる史跡めぐり」

(フィールドワークの参加は大会参加が原則です)

8月6日(金) 13時近鉄白子駅東口集合

定員 50名、参加費 1000円 + 交通費(片道 250円 ~ 350円・当日各自でお支払い下さい)

コース 近鉄白子駅東口 白子町・青龍寺の扁額見学(朝鮮通信使・朴徳源筆の扁額、東玉垣町唐人踊りのVTR、仲尾宏さん(京都造形芸術大学)・和田佐喜男さん(世話方)の講話) 鈴鹿市市役所(朝鮮通信使行列図染絵胴掛(幔幕)見学) 解散(近鉄鈴鹿市駅付近)

全国在日外国人生徒交流会

8月6日(金) 14時、現地(鈴鹿青少年センター)集合

8月7日(土) 全体会場へ移動し、その後、全体会で交流会の報告をして解散

詳細は生徒交流会担当者まで

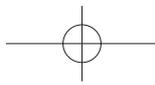
払 込 取 扱 票

00	三重																				
口座番号 (右語にご記入ください)																					
0	0	8	3	0	2	0	2	1	4	1	2	7	金額								
加入者名	第31回全外教三重大会実行委員会										料金		特殊取扱								
通信欄	大会参加票をお送りしますので、楷書で正確に記入してください。																				
	名前	大会参加				フィールドワークへの参加															
		参加する	参加する	参加しない	参加する	参加する	参加しない														
		参加する	参加する	参加しない	参加する	参加する	参加しない														
送金内訳 大会参加費 ¥4,500 × 人																					
フィールドワーク参加費 ¥1,000 × 人																					
送金合計額 ¥ _____																					
払込人住所氏名	(郵便番号)										受付局日附印										
	(電話番号)																				
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)																					

払込票兼領収証

口座番号	0	0	8	3	0	2	
右語にご記入ください							
	0	2	1	4	1	2	7
加入者名	第31回全外教三重大会実行委員会						
金額							
払込人住所氏名							
料金	(消費税込み) 受付局日附印						
	円						
特殊取扱							

切り取らないで郵便局にお出しください
記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください



参加申し込み方法

- ・ 下記の郵便振替用紙に必要事項をご記入の上、大会資料代等を振り込んでください。
- ・ 全体会と分科会には、当日受付での参加もできます。
- ・ 郵便振込での申し込みの締め切りは、7月30日（金）です。
- ・ フィールドワークの申し込みは、7月30日以前でも、定員になりしだい締め切ります。

大会・フィールドワーク参加の費用について

- ・ 大会参加（大会資料代等） 4,500円
- ・ フィールドワークコース（定員50人）..... 1,000円 + 交通費（片道250円～350円・当日各自負担）

書籍・資料の販売、展示について

書籍・資料の販売を行いますのでご利用ください。大会本部で認められた場所以外で行うことはできません。

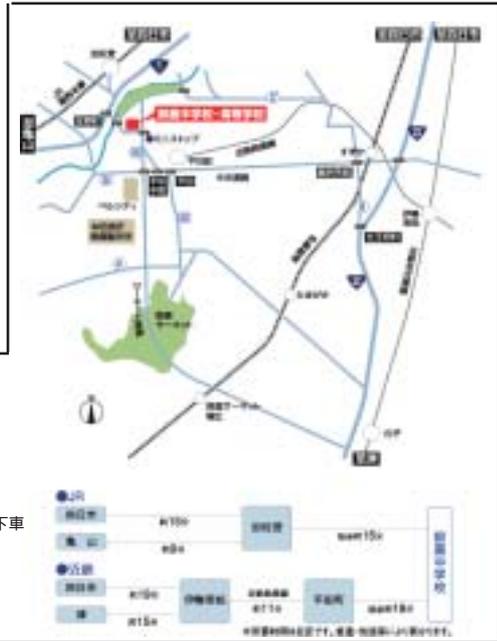
その他

会場は2足制になっていますので、上履きのご用意をお願いします。

ピラ・署名は、大会本部の許可のないものは認められません。広告、チラシは前もって「大会要綱集」に刷り込みますので、問い合わせてください。

宿泊

鈴鹿市内にはたくさんホテルがありますので、各自で予約をお願いします。



この受領証は、郵便局で機械処理した場合は郵便振替の払込みの証拠となるものですから大切に保存してください。

ご注意

この払込書は、機械で処理しますので、口座番号および金額を記入する際は、枠内に丁寧に記入してください。

また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

(ゆうちょ銀行)